



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

月信 Vol.11

2024

[MAY]

5



Contents

ガバナーメッセージ	3
国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度ガバナー	森川 昭正
パストガバナーメッセージ	4
2019-2020年度 ガバナー	鈴木 賢
パストガバナーメッセージ	5
2020-2021年度 ガバナー	伊藤 智仁
青少年奉仕月間	6
国際ロータリー第2520地区 古川東ロータリークラブ 2023-2024年度 青少年奉仕委員会	早坂 竜太
青少年交換(短期)派遣 報告	7
第2分区 インターシティミーティング報告	12
第6分区 インターシティミーティング報告	13
2024学年度 米山記念奨学生及び カウンセラーオリエンテーション開催	14
月間行事予定表	14
新入会員紹介・退会会員報告	15
編集後記	16



5月に最も見ごろを迎えるフジの花。今年はずいぶん松島湾とフジの花のコラボレーションを楽しんでほしい。奥松島宮戸島の標高100mの山からの眺めはまさに絶景。松島湾を東から一望することができる。

[表紙写真提供]

Kappo (株) (株式会社 プレスアート)



クラブ会長のリーダーシップで “楽しい例会”を!

国際ロータリー第2520地区
2023-2024年度ガバナー

森川 昭正 Akimasa Morikawa

本年4月19日(金)の親睦ゴルフ大会から始まったRI第2520地区の地区大会開催にあたりましては、地区内外及び韓国ソウルRI第3640地区からも多くのご来賓に参加して頂き、盛会に開催することができました。ご参加ご協力して頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

地区大会のご報告は次号以降のガバナー月信で行う予定ですが、地区大会の指導者研修セミナーの講師としてお招きしたRI第2800地区の鈴木一作様を書いた“ロータリアンに知ってほしい「例会のこと」”の一部をご紹介します。

ポール・ハリスの親しい友人で1923-24年度RI会長を務めたGuy Gundakerは、その著書「A Talking Knowledge of Rotary」の中で「ロータリーの例会は、魅力的で価値ある内容であることが必須である」と述べています。また、日本のロータリークラブの創設者である米山梅吉は、「ロータリーの例会は人生の道場である」と表現されています。

■それを踏まえ鈴木一作様は、意義ある例会の心得として

1. 心洗われる感動的な会長スピーチ (原稿は1分で300字が標準)
2. 会員スピーチの奨励 (15分スピーチ、年間と通したテーマ卓話など)

3. 地区委員、RAC、交換留学生、米山奨学生、ロータリー学友などによる卓話の奨励
4. 特別ゲストの例会卓話などで、新会員候補者の例会招待 (ロータリーを知ってもらう)
5. 「ロータリーの友」と「ガバナー月信」の解説や感想を会員が述べる例会時間の確保
6. ガバナー公式訪問時の「新会員奨励式」や「クラブ表彰式」の奨励
7. クラブの例会プログラムとして「フォーラム」の奨励
8. RIから奨励されているプログラムの実施
9. 例会の開会時間、会員やゲストの卓話時間、閉会時間などの厳守

を挙げています。

例会の内容が充実し、会員の皆様がお互いに声を掛け合い、親交を育むことで、「来てよかった!」と会員が感じる例会を開催できれば、きっとその会員は「ロータリーに入ってよかった」、「ロータリーは楽しい」と思い、真のロータリアンに近づき、辞めることはなく、新しい会員を連れてきてくれるのではないのでしょうか?

毎回楽しい企画を考え続けていくことは楽ではありませんが、上記の項目を参考に、是非、各クラブで“楽しい例会”を企画して頂きますようお願いいたします。



私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー

2019-2020年度 ガバナー

鈴木 賢 Ken Suzuki

森川ガバナーの月信にパストガバナーの寄稿のお願いがありました。5月号ということでのんびり構えていました。アットという間にその期日が来てしまいました。

タイトルは「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」です。

さて、書き始めようとしたら何も頭に浮かばない。それもそのはず真剣に今まで考えたことが無く、40年間惰性でロータリー生活を送っていたことに気がきました。

ロータリー活動に全てが真面目ではありませんが決して不真面目でもありません。非真面目位のロータリアンだと感じています。

毎週の例会に出て仲間と会って1時間。特別なことがあるわけでないけれど、例会が無い一週間が空くと例会が気になりますし、仲間が気になります。

もし貴方にとってロータリーとは?と尋ねられたら「たかがロータリー、されどロータリー」と答えたいと思っています。

ロータリーで色々な人との出会いを感じます。新しく入会する人、理由があって辞める人、また普段の顔とロータリーの顔が違う人、ロータリーはこうあるべきと思う人、楽しければどうでも良い人などさまざまな人達と

の出会いです。

入会して40年間。ロータリーも変化してきました。バブル期、その後の経済低迷期、東日本大震災、そして最近のコロナ禍など!ロータリーのあり方もその時々に変化してきたと感じます。

その変化の中で特に辞める人は残念に感じます。経済的理由で辞める人。転勤で離れる人、自分の意見が合わなくて去る人、クラブでコミュニケーションがとれなくなって抜ける人など見て来ました。「居酒屋で 毎週出会う 退会者」そのような川柳もあります。

その都度思うことはロータリーを難しく考えなくても良いのではと思うのです。もっと肩を張らずもっと優しく単純に考えてはどうだろうと思います。

これからのロータリーを思うと、今世界中のロータリアンの減少が問題になっています。

「DEI」も叫ばれています。日本と海外の温度差もあるように感じますが、お互いにロータリーの魅力作りをして、認め合い沢山の仲間を増やすことに尽きるのではないのでしょうか。

「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」

パストガバナーからのメッセージを掲載致します。

近年、世界の情勢も情報化社会も急速に変化している中、ロータリーにつきましても同様のことが言えるのかと思います。当地区のロータリアンの皆様におかれましては、それぞれロータリーについて考え、それぞれの奉仕活動にご尽力されていることと思いますが、一方でその急激な変化から、ややもするとロータリー活動において迷いが生じている会員の方々もいらっしゃるかと思います。

そこでこの度、パストガバナーの皆様からRI第2520地区の会員

の皆様への道標として「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」というテーマで寄稿をお願い致しました。内容につきましては、ガバナー就任時に重点を置いていたこと、良かったことや苦勞したことなどのエピソード、また、近年のロータリーについて考えること、ロータリアンに対するエールなどで地区ロータリアンの皆様を元気づけて頂ける様にお願ひ致しました。

私も楽しみに読んでいきたいと思っています。

(2023-2024年度ガバナー 森川 昭正)



私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー

2020-2021年度 ガバナー

伊藤 智仁 Norihito Ito



ロータリーに入会して既に20年を超えますが、それ以前から私は「儲けるは欲、儲かるは道」を座右の銘としてきました。一般的に利潤を生めない会社は周囲に迷惑をかけ挙句に潰れてしまいます。故に、会社経営の目的は利潤追求といわれ、気が付くと生き残りを掛けた競争が正義のように持てはやされます。その結果、自分が良くなり回りが凹むゼロサムゲームに突入します。周囲も勝者を褒めますが、これで社会全体の水準が向上することはありません。JAPAN AS No1といわれた当時の日本は大儲けもしましたが、モノづくりを中心に生活水準向上を図る日本初の製品や技術を世界に向けて発信しておりました。今、世界の富を一人占めしている様に感じるシリコンバレー企業と云えど彼らのお陰で仕事の面でも遊びの面でも社会水準が相当上がったはず。嘗ての日本も今のシリコンバレーも大儲けしましたが、バランスを取れるほどの役目も務めていました。ところが残念にも、いつの間にか話題がお金中心になってしまいます。

さて、ロータリーの目的で奉仕と訳されている言葉は、英文で Service と書かれています。本文の書出しに違和感を持った方も多いのではないのでしょうか。嘗て、クラブ内で活動しているときは「奉仕」という解釈に違和感を感じていました。世間にはロータリー以外の団体が沢山あります。私に関わった団体の多くも名称こそ違いますが、社会奉仕と称して類似した活動をしてきました。そうするとこの団体は一体何なんだろうと思ひ始めるわけです。しかし、ガバナーという立場になると、いい加減な理解ではいられないと思ひがあります。事務的な手続きは機械的に身に付けられますが、根幹である哲学の辻褄はなかなか会いません。それゆ

えに勉強もしたし、役目柄組織の頂点であるRI会長の考えを直接拝聴することもできました。そして、私なりにロータリーにおける歯車がピッタリと噛み合いました。

ロータリーの誕生した1900年頃のシカゴといえば映画でよく知る命懸けで騙し合いをしたギャング社会です。切欠となったのは4人ですが、社会に役立つ思いで仕事したいと思う沢山の仲間が集まった訳も良くわかります。「ロータリーの目的」は少し後から作られましたが、様々な職業で構成する社会をより良いものにするには夫々の職業が更に役立つよう互いに研鑽しなければならないといったエッセンスが詰められていると感じます。ロータリーソング「我らの生業」や「奉仕の理想」にも職業への思いが込められていると感じます。その時々を断片的に捉えると意味の良くわからなかった毎年のロータリーテーマも根っ子を振り返ると良く理解出来るし繋がっています。因みに私の年度は「ロータリーは機会の扉を開く」(ホルガークナーク会長)でした。

振り替えるとロータリーは、社会に役立つ人を育てるプログラムで構成しており、各職場のリーダーである我々自身が最優先の対象者です。仲間からヒントを得られる組織で上手く吸収出来れば社会の役に立つ会社が出来ます。会社が上手く行けば面白いし、見返りもついてきます。「企業が社会の公器」と呼ばれる意味とそれを目指す仕組みそのものだと思ひます。従って、本業を磨くこと自体が社会に対する奉仕となるし、余裕が出来たときには本業を超えた切り口で社会を良くする奉仕に努めるのです。まさに、ロータリーは「儲けるは欲、儲かるは道」を実践していると感じています。

パストガバナーからのメッセージ掲載予定

2023年 8月号	白倉義則パスト・伊藤大亜パスト
2023年 9月号	皆川清パスト・菊地弘尚パスト
2023年 10月号	小川惇パスト・桑原茂パスト
2023年 11月号	笠井昭彦パスト・八谷郁夫パスト
2023年 12月号	笹気光祐パスト
2024年 1月号	菅原一博パスト・小野寺則雄パスト

2024年 2月号	松良千廣パスト・山口淑子パスト
2024年 3月号	菅原裕典パスト・濱守豊秋パスト
2024年 4月号	藤崎三郎助パスト・田中堯史パスト
2024年 5月号	鈴木賢パスト・伊藤智仁パスト
2024年 6月号	鈴木俊一パスト・天沼久純パスト

青少年奉仕月間

国際ロータリー第2520地区 古川東ロータリークラブ
2023-2024年度 青少年奉仕委員会

委員長 早坂 竜太 Ryuta Hayasaka



5月は、若い人々の育成を支援する「青少年奉仕月間」です。この月間中、各ロータリークラブは、会報やHP等に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用し掲載するよう奨励されています。

2520地区の青少年奉仕委員会には、インターアクト（IA）委員会、ローターアクト（RA）・ライラ（RYLA）委員会、青少年交換（長期・短期）委員会が属します。

インターアクトクラブは、12～18歳の中学・高校生が対象となり、地元でのボランティア活動や他クラブとの交流をもってロータリー精神を養っています。

ローターアクトクラブは2019年の規定審議会においてRIへの加盟（RI会員）が承認され、ロータリーのパートナーとして指導・助言しながら共に活動しています。

ライラ（RYLA）委員会では、14歳～30歳のロータリーファミリーを対象に、リーダー育成のための指導者養成プログラム（RYLA）を実施しています。RYLAは青少年の育成に大変重要な役割を担っており、特にIACやRACの会員はもとより、各RCの会員事業所に勤務する若手社員など多くの皆様に参加して頂き、視

野を広げる機会を数多く経験して欲しいと願っています。

青少年交換委員会は、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、異文化を理解し、自ら考え率先して行動する力を育てることを目指しています。プログラムの参加者からは、海外に多くの友人ができ、奉仕と文化理解を生み、自身のアイデンティティーが養われた等の報告が寄せられています。

今年度のRIテーマは「世界に希望を生み出そう」です。私は、青少年奉仕委員長としてIA、RA・RYLA、青少年交換（長期・短期）等の青少年奉仕（若者の育成、支援、連携、地位向上）こそが“未来への希望”であり、持続可能な社会の構築に直結するものと考えています。

現在IA・RAの提唱がなく青少年関連プログラムへの参加経験がないRCも、会員事業所の若手社員をRYLAに参加させることや、近隣IAC、RACへの入会を推薦することで、青少年奉仕活動に寄与することが可能です。ご協力を宜しくお願い致します。





青少年交換(短期)派遣 報告

青少年交換(短期)副委員長

団 長 佐藤 仁 Jin Sato (仙台南ロータリークラブ)



昨年に続き団長を務め、女子5名、男子3名の合計9名で、3月13日から27日まで、RI5750地区のオクラホマ州へ行って参りました。今回は、あらためてオクラホマの皆様の温かいホスピタリティを深く実感した、「有難い」経験となりました。というのも、行程の前半で派遣生が次々と体調を崩し、自分もダウン寸前という、チームとして非常にまずい状況に陥ってしまったからです。ロータリアンの支えのおかげで、みなで乗り切ることができましたが、派遣生たちもそれぞれに

得がたい価値ある経験ができたと確信します。今回満足できなかった様々な思いは、これから生きていく上での目標や夢へと繋がっていくでしょう。

両地区のロータリアンが築いてきた信頼関係の上に成り立っているこの短期交換プログラムは、もうすぐ50周年を迎えます。このプログラムを支え、関わってくださっている日米すべての皆様に心より感謝申し上げます。



終わりをければすべてよし!サヨナラパーティーにて、6月に来日するメンバーとともに

■2023-24 年度 青少年交換（短期）派遣生

成田 さわ Sawa Narita



仙台高等専門学校 1年 推薦RC:名取RC

この短期交換留学で過ごしたオクラホマでの2週間は、これまでの人生で最も充実した時間でした。オクラホマでの生活を通して、たくさんの日本との違いに気づき、驚かされました。家族で過ごす時間が優先されていることや、あまり料理をする習慣がないこと、街並みの統一感などです。レンガ造りの建物でまとめられた商店街や住宅街、庭一面の芝生など、どれも建築学生として学びになるものばかりでした。特に、オクラホマのユニオンステーションから見たダウンタウンの景色は感動的でした。

このプログラムを企画してくださったロータリークラブのみなさま、本当にありがとうございました。この2週間の体験で、私は自分の世界を広げることができたと感じています。私も将来、この恩を送ることができるよう留学経験を生かして学業に励んでいきたいと思います。ロータリアンの方々、家族、先生方、サポートしてくださった全ての方々に感謝しています。



ホストファミリーとの思い出

菅原 一朗 Ichiro Sugawara



尚絅学院高等学校 2年 推薦RC:仙台RC

まず初めに、今回この青少年交換短期留学プログラムに参加させていただき、ありがとうございます。オクラホマ州の文化や伝統、自然、人々の生活などいろいろな事を、身をもって体験することができました。留学やホームステイなどすべてが初めてだった自分にとって、最初はとても不安でしたが、現地のホストファミリーやロータリーの方々に温かく迎えられ、自然と不安も無くなっていき、帰りたくないという思いが強くなっていました。

アメリカの食べ物とはとにかく大きく、とても美味しかったです。食べるのが大好きな自分にとって食事は幸せな時間でした。また、ホストファミリーや現地の人々と実際にコミュニケーションをとり、交流した経験は自分の英語力を向上させたと思います。たとえ相手の言っていることが分からなくても、固まったりせずに、積極的に話し続けることが大切だと学びました。

今回の留学を通して様々なことを学び、成長できたと思います。この経験を生かし、これからの進路や将来について考えていきたいです。



ホストファミリーとの思い出

■2023-24 年度 青少年交換（短期）派遣生

木皿 美凜波

Mirina Kisara



仙台育英学園高等学校 2年 推薦RC:仙台東RC

初めに、推薦して下さった仙台東ロータリーの皆さま、ありがとうございます。今回の短期留学を通して、オクラホマの歴史や文化などたくさんのことを学び、経験しました。初日は、私たちのためにお菓子やオクラホマのグッズを用意していただき、温かい歓迎に感動しました。4回も出席した例会では、様々なバックグラウンドのある方と交流し、将来に関するアドバイスをさせていただいたことで、自分は英語を使ってキャリア形成をしたいということに改めて気付かされました。特に印象に残っているのはNBA観戦と米軍基地です。幼い頃からバスケットをしていたため、懂っていたNBAの試合を観戦したことは、一生の思い出です。また、米軍基地では過去のミッションや訓練の仕方まで細かく教えていただき、二度とない体験をできたことに誇りを感じています。研修中のハプニングにも仁さんのサポートと、8人の仲間と助け合いながら、自立心と協調性を学ぶこともできました。言葉では表せないほどの素晴らしく感動的なこの経験を、将来に必ず活かしたいと思います。短期候補生として選抜していただき、様々な指導をして下さったロータリーの皆さま、本当にありがとうございました。



バンス空軍基地での素敵な思い出。
一生に一度の経験をさせていただきました！

千葉 迅

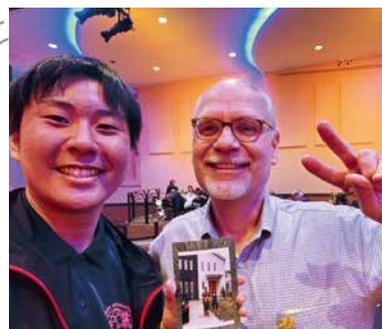
Toki Chiba



宮城県築館高等学校 2年 推薦RC:栗駒RC

今回が初の海外ではなかったのですが、自分の英語が現地で通用するのかと現地での生活に不安を感じていましたが、みな優しくフレンドリーで、楽しくコミュニケーションをとることができました。ロータリーの方々に、日中いろんな場所に連れて行っていただき、また何かを質問をする度に熱心に教えていただけたことは、とても嬉しかったです。また、例会でも、話しかけたロータリアンの方々にはとても親切にしてくださいました。

今回、僕は4軒の家庭にホームステイをさせていただきました。ステイ先が多い分、それぞれの思い出も濃く、帰国が近づくにつれて泣きそうになるような思いがこみ上げてくるほどでした。そして、最終日のサヨナラパーティーでは、このプログラムで9年ほど前に私の家にホームステイしたロータリアンが会いに来てくれました。その時、私はロータリーとのかかわりの深さを実感し、人生の素晴らしさを思い知ることができました。オクラホマへ行って本当に良かったです。



9年前の私の家にホームステイしたケリーさん。当時の写真を見ながら、今でも覚えてくれたことは本当に嬉しかった。

■2023-24 年度 青少年交換（短期）派遣生

田中 倫裕 Tomohiro Tanaka



聖ウルスラ学院英智高等学校 2年 推薦RC:大河原RC

僕は、短期派遣生として約2週間アメリカのオクラホマへ短期留学をさせていただきました。オクラホマが僕の人生初の海外渡航になったこと、大変光栄に思います。

オクラホマでは、数多くの貴重な体験をさせていただくことができました。その中でも特に心に残っていることは、ホストファミリーの方々との交流とロータリーの例会です。僕は3軒のホストファミリーにお世話になり、どの家の方々にも本当の家族のように接していただきました。また、例会では、会員の方々の前でスピーチをするとても貴重な機会がありました。一方で、自分の英語の拙さに悔しい思いをすることもあり、より一層勉学に励もうと思いました。

最後に、今回の留学を支えてくださった団長の仁さんをはじめとするロータリアンの皆様、そして応援してくれた家族に感謝してもきれません。皆様に恩返しができるようこの留学を糧に、より一層精進したいと思います。本当にありがとうございました。



スポンサー(中央の子)のお気に入りスポットで撮った一枚

齋藤 百果 Momoka Saito



宮城県白石高等学校 2年 推薦RC:白石RC

オクラホマでの2週間はあっという間でした。沢山の初めてを経験し、留学でしか学べないことを吸収できました。留学中に私が1番感動したのは、人のあたたかさです。本当の家族のように接してくれたホストファミリー、一緒にゲームをし、お互いの国のことを教え合ったアウトバウンド生。私は留学に行く前、自分がこんなにみんなと話して仲良くできないと思っていました。それくらい自分の英語に自信がなかったし、初対面だと緊張してしまう性格だったからです。最初の頃は、英語を話す前に翻訳を使って合ってるか確かめるほどでした。1週間ほど経ってから、表情や身振り手振りを使って伝えようとする気持ちが大事だと感じるようになりました。間違えてもいいから自分の英語で話したいと思うようになったことが、私の中で一番成長したことだと思います。

オクラホマのみんなのあたたかさがあったからこそ私は成長できました。みんな最高の2週間をありがとう!



ホストファミリーがプレゼントしてくれたお揃いのTシャツで動物園に行きました!

■2023-24 年度 青少年交換（短期）派遣生

布宮 梓 Azusa Nunomiya



東北学院高等学校 2年 推薦RC:仙台宮城野RC

私にとってオクラホマ州での2週間はとても貴重な体験でした。様々な面でサポートしてくださったロータリークラブのみなさま、こころよく受け入れてくださったみなさまには心から感謝しています。今回の留学は私にとって初めての海外渡航であったため、不安と緊張を抱えながら初日を迎えました。しかし、ホストファミリーの温かい歓迎、また、広大な土地やとても大きなショッピングモールといった日本では経験できない活動から、多くの愛や楽しさを感じ、気づいたときには不安は消えていました。

また、オクラホマには様々なルーツをもつ方がたくさんおり、オクラホマの方々がどんな人とも別け隔てなく交流する様子を直接見たことで、自分と異なるルーツをもつ人との関わり方についての自分の考えを深めることができました。

私は今回の留学を通して、自分の英語力をもっと高めたいと思いました。この経験を糧に今後も勉学に励み、次に海外に行く際にはもっと自信をもって交流できるようになります。



私に刺激を与えてくれた
同世代との交流

青木 瑠衣 Rui Aoki



聖和学園高等学校 1年 推薦RC:仙台北RC

私は将来、アメリカの大学に行きたいという夢があり、アメリカの生活を実際に体感したいと思い、このプログラムに参加しました。

オクラホマに着いた時には当然英語しか相手に伝わらないので、実際に英語で喋ると言いたいこともなかなか伝わらず、またうまく聞き取れないなど、コミュニケーションにとっても苦戦しました。私は自信を

無くしていたのですが、ホストファミリーは私の話を真剣に聞いてくださり、自信を取り戻すことができました。伝わらなくても、伝える意志をもって言えば伝わるということを学ぶ事が出来ました。

2週間の中で一番の思い出は、生でNBA観戦ができたことです。私はバスケットボール部に入っているのです、実際の試合を見ることで、たくさん学ぶことができました。

このような貴重な体験をさせて下さった両親、ロータリーの方々や先生に感謝の気持ちを忘れず、部活や勉強を頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。



初NBAでセンタースクリーンに
映った奇跡の写真です。

第2分区 インターシティミーティング報告

第2分区ガバナー補佐
花巻南ロータリークラブ

照井 敬孝

Keikou Terui

2024年3月24日(日) 国際ロータリー第2520地区第2分区のインターシティミーティングを花巻北ロータリークラブがホストクラブとして、「ホテルグランシェール花巻」にて開催いたしました。参加クラブは11クラブ、登録会員数146名(花巻・花巻南・花巻北は全員登録)ご来賓に、森川昭正ガバナー、佐藤剛ガバナーエレクト、菊池弘尚パストガバナー、伊藤智仁パストガバナーに、ご臨席を賜り本年度は、このインターシティミーティングをコロナ前に戻しての開会行事・基調講演・懇親交流会の3部構成で行いました。私の開会点鐘で開会し、開会の言葉は、ホストクラブ谷地玄光IM実行委員長、歓迎の言葉を佐賀忠臣会長が、それぞれ今回のテーマ「温故知新」についての思いを話されました。

今回のインターシティミーティングは、今まで先輩方から受け継いできた思いと歴史を振り返りながら、新しいことや新しい考えを生み出す機会となること、クラブの皆様が、同じように未来に希望の持てるロータリークラブになってほしいとの願いを込め、テーマを「温故知新」としました。

その後は、森川昭正ガバナーよりご挨拶を頂戴致しました。

第2部の基調講演は「温故知新ロータリー昔話」と題され、佐藤剛ガバナーエレクトから日本のロータリーの歴史についてのご講演を頂きました。東京ロータリークラブ秘蔵である、約100年前の貴重なフィルム映像を拝見しながら当時、日本が置かれた状況、また当時のロータリークラブの活動の様子を佐藤剛ガバナーエレクトの解説で約50分間拝聴をさせていただきました。大先輩方の当時の様子を心に刻む機会となりました。そのあとに、森川昭正ガバナーよりIMに対する意義の講評をいただきました。そして次回開催の北上ロータリークラブの紹介と高橋敏彦会長エレクトの次期ホストクラブの決意の挨拶をいただき閉会点鐘で第1部、第2部を終了しました。

その後、花巻南ロータリークラブが青少年育成活動で支援をしている、インターアクト校の花巻農業高等学校の

鹿踊り部の公演を挟んで、第3部の懇親交流会(参加者96名)が、花巻南ロータリークラブ嶋利幸会長の開会の言葉で開会となりました。ご挨拶を伊藤智仁パストガバナーより頂戴し、花巻ロータリークラブ吉田和洋会長の乾杯で和やかに進みました。

4年ぶり懇親会となり各クラブ情報を交換し、大いに親睦を深め有意義な時間の中、あっという間に最後のロータリーソング「手に手つないで」を輪になって歌い終了となりました。



第6分区 インターシティミーティング報告(大崎ゾーン)

第6分区ガバナー補佐
岩出山ロータリークラブ

小野 正則

Masanori Ono

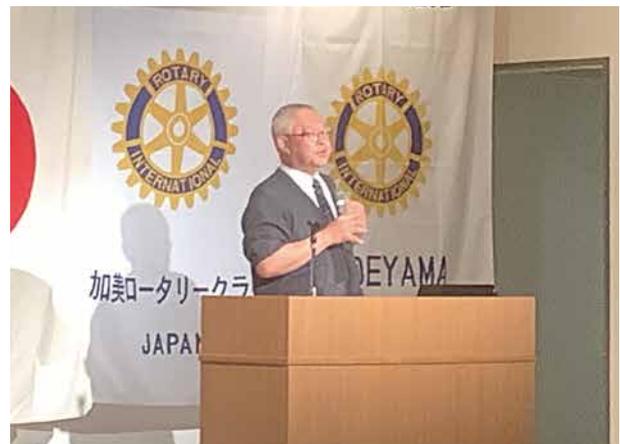
2023-24年度第6分区(大崎ゾーン)インターシティミーティングを岩出山ロータリークラブのホストクラブで、3月30日(土)に行いました。できるだけ多くの会員が参加しやすいように、古川ロータリークラブさんの例会会場である「アインパルラ浦島」にて行いました。当日参加者は大崎ゾーン会員109名中78名の出席で出席率は70%となり、たくさんのロータリアンにご参加いただき感謝申し上げます。

森川昭正ガバナーの地区活動方針に「メンタルヘルスに関する理解推進と支援」があります。

仙台大学体育学部健康福祉学科教授 氏家靖浩先生に「メンタルヘルスに関するおはなし」と題して、特別セミナーをお願いしました。氏家先生は、岩出山ロータリークラブ永根喜郎会長の先輩と一緒に少年野球をした仲間だそうです。氏家先生のメンタルヘルスのお話の中で、心の病で30万人が入院114万人が通院しているのが日本の現状とのことでした。心の病気の人、又はその手前で悩んでいる人は「孤独」が最大の敵だそうです。私たち周りの人ができることはまず話を聞いてあげること、寛容の心で受けとめること、あなたのことを思っているよとわかってもらうことだそうです。わたしたちロータリアンは家庭や職場や地域社会で「メンタルヘルスに関する理解推進と支援」をロータリアンとして、又は個人として推し進めていけたらと思います。

IMの目的の一つ「会員相互の親睦を深める」懇親会を後半に行いました。大崎ゾーン内全会員が集まれる懇親会はIMだけです。隣接クラブの人たちとの有意義な交流がおこなわれたものと思います。また会場を変えての反省会にも多くのクラブの会員にご参加いただき、より親密な親睦が履かれたものと思います。

会場を提供していただいた、古川ロータリークラブさん及びホストクラブの岩出山ロータリークラブの皆さんに感謝を申し上げIMの報告とします。



2024学年度 米山記念奨学生及びカウンセラーオリエンテーション開催

奨学生は今日から ロータリーファミリー!



米山記念奨学会委員会
委員長 清水 努 (塩釜RC)

新規奨学生及び世話クラブ、カウンセラーのオリエンテーションが、4月7日、仙台市青葉区のホテルで開かれた。当地区の奨学生割当数は11名のうち6名が新規採用となった。式には奨学生、カウンセラー及び地区関係者約20人が出席、奨学生のオリエンテーションに先立ち、今年度の世話クラブ、カウンセラーにその役割について説明がなされた。その後、初めて引受クラブのカウンセラーに奨学生が紹介された。奨学生はやや緊張した面持ちで、挨拶をしていた。引続き奨学生のオリエンテーションが行われ、米山記念奨学会理事、桑原茂より米山記念奨学生バッジが一人ひとりに授与された。この後、奨学生は「責任と義務」について説明を受け、確約書に署名し正式に奨学生となった。奨学生各々は思いを込めて自己紹介と感謝の言葉を述べた。奨学生の一人は「ロータリアンとの交流は学校では体験できない貴重なチャンス」と話していた。会食を挟み最後に全員で記念写真に収まり、希望に満ちた笑顔で帰路に着いた。



2023-2024年度 行事予定表(5・6月)

	月	日	曜日	行事	場所
ガバナー年度	2024年				
	5月	2	木	3640地区大会(～3日)	ザ-Kホテルソウル@韓国ソウル
		11	土	第27回日本青少年交換研究会@山形会議(～12日)	天童市 市民文化会館/天童ホテル
		16	木	釜石東RC 創立60周年記念式典	ホテルクラウンヒルズ釜石
		18	土	RAC地区年次大会	ラ・クラージュ(古川)
		25	土	ロータリー国際大会(～29日)	シンガポール
	6月	1	土	地区研修協議会	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
		8	土	第16回全国RYLA研究会 福島会議(～9日)	磐梯熱海温泉 ホテル華の湯
		15	土	第11回全国インターアクト研究会 神戸会議(～16日)	神戸駅前研修センター
		29	土	仙台西RC 創立60周年記念式典	ウェスティンホテル仙台

新入会員紹介

 盛岡北RC やまぐち たかし 山口 崇 2024.4.17 入会 銀行業	 盛岡南RC やまざき ともき 山崎 智樹 2024.4.4 入会 学習塾経営	 大船渡RC おのでら ひろし 小野寺 浩 2024.3.6 入会 電気事業	 釜石RC みやはら まさみ 宮原 政海 2024.3.26 入会 総合工事業	 山田RC ませ けいぞう 間瀬 慶蔵 2024.2.26 入会 小売業	 山田RC ぶとう かつひこ 武藤 勝彦 2024.2.26 入会 自動車販売業
 山田RC こんどう あきひろ 近藤 晃弘 2024.4.1 入会 医師	 仙台泉RC ふじしま だいすけ 藤嶋 大輔 2024.3.21 入会 接骨院	 仙台南RC ふくだ こうや 福田 晃也 2024.4.4 入会 旅行業	 名取RC たけうち こずえ 竹内 こずえ 2024.2.8 入会 金融業	 柴田RC おくつ こうとく 奥津 幸徳 2024.4.1 入会 食品製造業	
【訃報】	謹んでご冥福を お祈り申しあげます。		 盛岡RC おがわ あきら 小川 彰 2024.3.3 逝去(享年74歳) 2020.5.29 入会		

【退会会員報告】

クラブ	氏名	職業分類	退会日
盛岡東RC	関山 岳大	証券業	2024.3.31
花巻南RC	川辺 助之	プレス加工	2023.12.31
花巻南RC	高橋 溥芳	電気工事請負業	2024.3.31
北上RC	半澤 裕司	電気事業	2024.3.31
一関RC	市野 賢三朗	生命保険	2024.3.31
大船渡RC	畠山 浩司	電気事業	2024.3.1
大船渡RC	千田 きみえ	スナック	2024.3.31
大船渡RC	出羽 司孝	設備工事	2024.3.31
大船渡RC	越智 豊彦	セメント製造業	2024.3.31
気仙沼南RC	高木 信一	損害保険	2024.3.31
釜石RC	白岩 聡司	総合工事業	2024.3.26
山田RC	吉川 義浩	建設業	2024.3.30
多賀城RC	千葉 耕介	電力供給	2024.3.31
多賀城RC	豊永 英児	石油精製	2024.3.31
仙台北RC	加藤 誠	金融リース	2024.3.1
仙台北RC	近藤 晃弘	保険業—海上	2024.3.31
仙台北RC	和田 克幸	損害保険	2024.3.31
仙台北RC	相沢 拓哉	石油卸売業	2024.3.31
仙台北RC	工藤 俊樹	電気機器製造	2024.3.31
仙台北RC	清水 宏次朗	総合建設業—中央	2024.3.31
仙台東RC	末武 将信	ビール製造業	2024.3.25
仙台東RC	内藤 剛彦	電気事業	2024.3.25



IWATE AREA

第一分区

- ① 久慈 RC 24(1)
- ② 二戸 RC 46(4)
- ③ 種市 RC 17(0)
- ④ 盛岡 RC 68(2)
- ⑤ 盛岡北 RC 33(3)
- ⑥ 盛岡西 RC 18(1)
- ⑦ 盛岡南 RC 40(0)
- ⑧ 盛岡東 RC 24(2)
- ⑨ 盛岡中央 RC 24(4)
- ⑩ 盛岡西北 RC 43(6)
- ⑪ 盛岡滝ノ沢 RC 4(3)

第二分区

- ⑫ 花巻 RC 32(2)
- ⑬ 花巻南 RC 31(1)
- ⑭ 花巻北 RC 42(1)
- ⑮ 北上 RC 36(3)
- ⑯ 北上西 RC 17(3)
- ⑰ 北上和賀 RC 20(3)
- ⑱ 岩谷堂 RC 10(0)
- ⑲ 前沢 RC 13(0)
- ⑳ 水沢 RC 14(1)
- ㉑ 奥州水沢東 RC 32(4)

第六分区

- ④⑥ 古川 RC 42(4)
- ④⑦ 古川東 RC 39(1)
- ④⑧ 岩出山 RC 12(1)
- ④⑨ 加美 RC 15(0)
- ⑤⑩ 大和 RC 5(0)
- ⑤⑪ 松島 RC 5(0)
- ⑤⑫ 塩釜 RC 28(1)
- ⑤⑬ 塩釜東 RC 11(1)
- ⑤⑭ 多賀城 RC 21(1)
- ⑤⑮ 利府 RC 9(1)
- ⑤⑯ ケー浜 RC 13(0)

第七分区

- ⑤⑰ 仙台 RC 124(4)
- ⑤⑱ 仙台泉 RC 50(0)
- ⑤⑲ 仙台青葉 RC 40(0)
- ⑥⑰ 仙台冠 RC 11(3)
- ⑥⑱ 仙台レインボー RC 7(2)
- ⑥⑲ 仙台南 RC 43(4)
- ⑥⑲ 仙台南・白石R衛星 19(9)
- ⑥⑳ 仙台北 RC 54(1)
- ⑥㉑ 仙台東 RC 53(0)
- ⑥㉒ 仙台西 RC 40(1)
- ⑥㉓ 仙台宮城野 RC 33(3)
- ⑥㉔ 仙台奥羽 RC 26(3)

第四分区

- ③② 釜石 RC 17(1)
- ③③ 釜石東 RC 28(2)
- ③④ 大槌 RC 6(0)
- ③⑤ 遠野 RC 10(2)
- ③⑥ 宮古 RC 31(4)
- ③⑦ 宮古東 RC 24(1)
- ③⑧ 山田 RC 19(1)

第三分区

- ②② 花泉 RC 10(2)
- ②③ 平泉 RC 12(0)
- ②④ 一関 RC 16(1)
- ②⑤ 一関中央 RC 16(6)
- ②⑥ 大船渡 RC 32(2)
- ②⑦ 大船渡西 RC 30(5)
- ②⑧ 陸前高田 RC 18(0)
- ②⑨ 千厩 RC 23(2)
- ③⑩ 気仙沼 RC 22(0)
- ③⑪ 気仙沼南 RC 37(2)

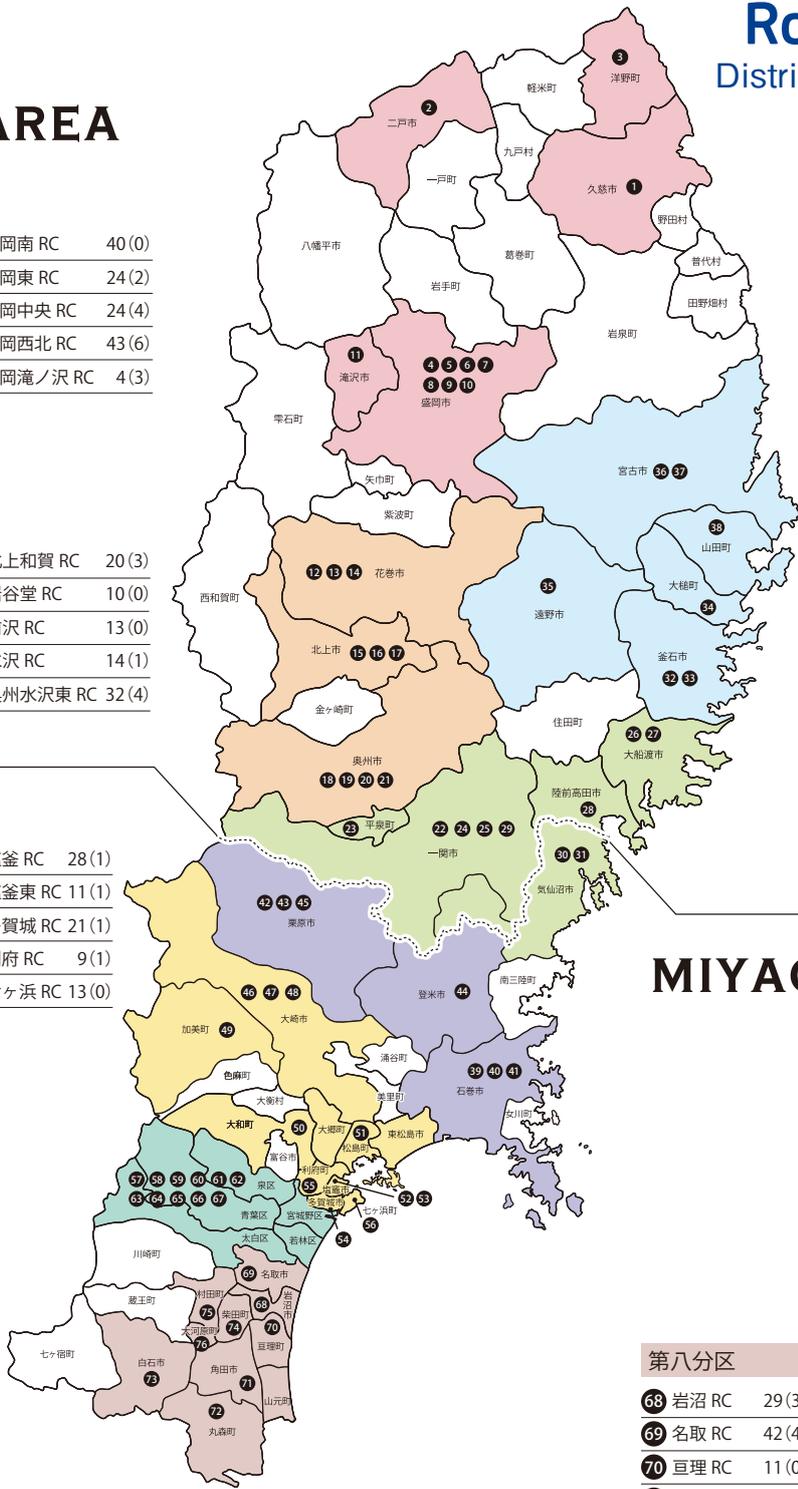
MIYAGI AREA

第五分区

- ③⑨ 石巻東 RC 39(0)
- ④⑩ 石巻西 RC 34(2)
- ④⑪ 石巻南 RC 18(0)
- ④⑫ 栗駒 RC 13(1)
- ④⑬ 築館 RC 19(1)
- ④⑭ 佐沼 RC 52(5)
- ④⑮ 若柳 RC 26(7)

第八分区

- ⑥⑧ 岩沼 RC 29(3)
- ⑥⑨ 名取 RC 42(4)
- ⑦⑩ 亶理 RC 11(0)
- ⑦⑪ 角田 RC 16(0)
- ⑦⑫ 丸森 RC 14(0)
- ⑦⑬ 白石 RC 16(1)
- ⑦⑭ 柴田 RC 18(0)
- ⑦⑮ 村田 RC 13(1)
- ⑦⑯ 大河原 RC 32(4)



※クラブ名の右側の数字は2024年3月31日会員数
()内は女性会員数【合計2,031名(143)】

〈 編集後記 〉

先月は森川ガバナー年度最大のイベント、地区大会に多くの皆様にご出席を賜り、ありがとうございました。6月号にて皆様への御礼と事業報告を掲載致します。ガバナー任期もあとわずかとなりましたが、気を抜くことなく、ゴールを迎えられますよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

ガバナー月信編集長 佐藤 優昭

国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度 ガバナー事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8
第一日本オフィスビル8階4号
開所時間/月～金 9時～17時(土・日・祝日休み)

TEL 022-224-0151 FAX 022-224-0152
E-mail: ri2520-sendai@sage.ocn.ne.jp